

中国語の方向補語の“下”の意味について

—言語学習の困難点という視点から—

馮 富栄^{※1}
蘇 雪蓮^{※2}

はじめに

中国語の中には、「吃饱了（お腹がいっぱいになった）」や「走上三楼（三階にあがった）」などの表現がある。「吃饱了」の「饱」は「吃（食べる）」という行為を行った結果、「お腹がいっぱいになった」という意味を表すものである。一方、「走上三楼」の「上」は、「低い所から高い所へ」という方向性を表している。この「饱」も「上」も中国語の補語^{※3}となるが、前者は結果を表すものなので、「結果補語（結果補語）」と呼ばれ、後者は方向を表すものなので、「趋向补语（方向補語）」と呼ばれている。方向補語の中には「上」のほかに、「来」や「去」、「下」、「进」、「回」などがあるほか、「上来」、「上去」のように、2つの方向補語より構成されている「复合趋向补语（複合方向補語）」もある。その数を合計すれば28個にも達している。しかも、中国語の方向補語は種類が多いただけでない。一つの方向補語には多様な意味が含まれているので、その学習は、日本人にとって極めて困難である。本研究は、中国語の方向補語の中の「下」に焦点を絞って検討するものである。

そのため、まず方向補語である「下」に関する先行研究について検討する必要があるが、その中から代表的なものとして、呂（1992）の研究、杉村（1983）の研究、史（1993）と劉（1998）の研究を取り上げて検討してみる。先行研究をまとめた上で、方向補語である「下」の意味を再吟味し、同じ中国語の方向補語である「上」と対応しているかどうか、また日本語ではどんな表現が対応しているかという視点から再分類する。

本研究は4章から構成されている。第1章は先行研究についての検討である。第2章は中国語の方向補語である「下」と「上」が対応している部分について検討するものである。第3章は第2章の逆で、「下」と「上」が対応していない部分についての検討である。そして、第4章は全体のまとめと今後の研究課題である。

1. 先行研究

本稿では、主として以下の4つの研究について検討する。

1.1 呂叔湘の研究（1992）

呂（1992）が「動詞+下+語句」という構文を中心にして、方向補語の「下」の後にどんな語句

※1 言語コミュニケーション学科

※2 言語コミュニケーション研究科博士後期課程 在籍

※3 冯志纯（2002）によると、「補語は述語（動詞または形容詞）の性質を持つ語句の後につくもので、述語の語句に対して説明を補うものである」という。

が付くかとの視点から“下”の意味を分類した。かれは、“下”の後に付く語句を以下のように3つのパターンに分類した。

パターン1: 動作の対象か、または動作の主体である

パターン2: 数量+名詞

パターン3: 場所を表す名詞

彼によると、パターン1の方向補語の“下”には、さらに以下の3つの意味があるという。

① 人やいは事物が動作と共に高い所から低い所に向かう意味。たとえば、

例: 他激动得流下了眼泪。(呂叔湘(1992) P410)

日本語訳: 彼は感動のあまり涙を流した。

② 動作の完成及び離脱という意味。たとえば、

例: 脱下皮鞋, 换上拖鞋。(呂叔湘(1992) P410)

日本語訳: 皮靴をぬいでスリッパに履き替える。

③ 動作の結果を固定するなどの意味。たとえば、

例: 发下誓。(呂叔湘(1992) P410)

日本語訳: 誓いを立てる。

呂は、パターン2の場合、一定の数量を収容できることを表すと指摘した。たとえば、

例: 这屋子很大, 能睡下七、八个人。(呂叔湘(1992) P410)

日本語訳: この部屋はとても広いので、七、八人寝られる。

呂は、パターン3の場合、人やいは事物が動作と共に高い所から低い所へ移ることを示すと指摘した。たとえば、

例: 走下楼。(呂叔湘(1992) P410)

日本語訳: 階上から下りる。

1.2 杉村博文の研究(1983)

杉村(1983)が反対語の視点から、方向補語である“下”の派生的な意味を2つに分類した。杉村は、方向補語の“下”の反対語になるものとしては、方向補語の“上”及び方向補語の“起来”の2つがあげられると指摘し、“下”の派生的な意味を、方向補語の“上”と対応する場合を“下₁”に、“起来”と対応する場合を“下₂”に名づけた。彼によると、“下₁”には主に下記の2つの意味、“下₂”には下記の3つの意味があるという。

1.2.1 “下₁”の意味について

① 「離脱」という意味。たとえば、

例: 摘下帽子。

日本語訳: 帽子を取る。

② 「ほうっておく、遺棄」という意味。たとえば、

例: 她丢下我, 跑回自己的屋子里去了。

日本語訳: 彼女は、私をほったらかして自分の部屋に走り戻った。

1.2.2 “下₂”の意味について

① 「残す、残しておく」という意味。たとえば、

例：写下了光辉的诗篇。(杉村博文 (1983) P445)

日本語訳：立派な詩を書き残した。

②「決定」という意味。たとえば、

例：定下计划。

日本語訳：計画を立てる。

③「停止」という意味。たとえば、

例：停下手中的活儿休息一下。

日本語訳：作業を一時停止して、一服する。

1.3 史錫尧の研究 (1993)

史 (1993) が方向補語の“上”と“下”の意味について相互に対応できるか否かという視点からそれぞれ説明した。史によると、方向補語の“下”には下記のような5つの意味があるという。

①「高い所から低い所へ向かう」という基本的な意味と職務や年齢などによる上下関係の「上から下へ」という意味。たとえば、

例：走下讲台。(史錫尧 (1993) P6)

日本語訳：演壇から下りる。

例：传下命令。(史錫尧 (1993) P6)

日本語訳：命令を部下に伝達する。

②方向補語の“下”には「削除」という意味があり、“上”の「添加」という意味に対応している。たとえば、

例：脱下大衣。(史錫尧 (1993) P6)

日本語訳：コートを脱ぐ。

③「離脱」という意味。たとえば、

例：揪下一根头发。(史錫尧 (1993) P7)

日本語訳：髪の毛を一本抜いた。

例：丢下妻子儿女。(史錫尧 (1993) P7)

日本語訳：妻と子供を捨てた。

④「完成」という意味。たとえば、

例：打下基础。(史錫尧 (1993) P6)

日本語訳：基礎を築く。

⑤「収容」という意味。たとえば、

例：这辆面包车能坐下十二个人。(史錫尧 (1993) P7)

日本語訳：このワゴン車は十二人座れる。

方向補語である“下”の持っている上記の5つの意味の内、①～③は方向補語の“上”の意味と対応しているが、④と⑤は対応していない。

1.4 劉月華の研究 (1998)

劉 (1998) が方向補語である“来”、“去”、“上”、“下”、“进”、“出”、“回”、“过”、“起”、“开”、“到”の意味を数多くの例文を挙げながら全体的に考察した。彼女によると、方向補語の意味には“趋向

意义(方向を表す意味)、“结果意义(結果を表す意味)”、“状态意义(状態を表す意味)”の3つがあるという。

1.4.1 「方向を表す意味」について

①高いところから低いところへ移動する、または到達するという意味。たとえば、

例：老师在热烈的掌声中走下了讲台。

日本語訳：先生は熱烈な拍手の中で、演壇を下りた。

②目の前の目標から離れていくという意味。たとえば、

例：他最后只能败下阵来。

日本語訳：彼は、最後に退場するしかなかった。

1.4.2 「結果を表す意味」について

劉によると、「結果を表す意味」はさらに基本的な意味である「結果意味」と派生的な意味である「結果意味」に分けられるという。基本的な意味である「結果意味」とは「物体の一部分が物体の全体から離れる、または副次的な部分が主要な部分から離れる」という意味である。この場合、7種類の動詞が使われている。

①「物体を分離させる」という動作を表す動詞。たとえば、

例：摘下眼镜。(劉月華(1998) P142)

日本語訳：メガネを取る。

②「削減する、除去する、遺棄する」などの動作を示す動詞。たとえば、

例：(市委)以政审不及格的名义刷下了十个人。(劉月華(1998) P142)

日本語訳：政治審査が不合格という名目で十人を不合格にした。

③「受け取る、取得する」などの動作を示す動詞。たとえば、

例：最终一咬牙买下了。(劉月華(1998) P144)

日本語訳：最後には、思い切って買った。

④「書く、描く」などの動作を示す動詞。たとえば、

例：这是我在监狱里偶然写下的一点东西。(劉月華(1998) P145)

日本語訳：これは、僕が刑務所で偶然に書いたものである。

⑤「残る、ためる、残す、引き伸ばす」などの意味を表す動詞。たとえば、

例：除了还上押款与利钱，还剩下二十来块。(劉月華(1998) P146)

日本語訳：保証金と利息は全部返せただけでなく、20元ぐらい余った。

⑥「備えさせる、存在させる」などの動作を示す動詞。たとえば、

例：他自身也提高了，成熟了，为他将来成为大指挥家打下雄厚的基础。(劉月華(1998) P148)

日本語訳：彼自身も大きく成長した。これが後に指揮者になるための重要な一歩となった。

⑦「決定する」の意味を表す動詞もしくは「決定する方法」を示す動詞。たとえば、

例：咱们定下关系吧。(劉月華(1998) P150)

日本語訳：私たち二人の関係をはっきりさせよう。

一方、派生的な意味である「結果意味」には、下記のような2つの使い方がある。

①「凹む」という意味。たとえば、

例：雪堆得很厚，脚踩下去，陷下老深。

日本語訳：雪がすごく積もっていて、踏むと大きく凹んでしまった。

②「収められる、収容する」という意味。たとえば、

例：车里还能挤下两个人。(劉月華 (1998) P153)

日本語訳：車の中に、あと二人ぐらいは何とか乗れる。

1.4.3 「状態を表す意味」について

①動態から静態に入るという意味。たとえば、

例：看到司令官来了，他站下，举手敬礼。

日本語訳：司令官が来たのを見て、彼はすぐ立ち止まって敬礼をした。

②動作、状態の持続を表す意味。たとえば、

例：她就是坐在书桌前也看不下书。(劉月華 (1998) P155)

日本語訳：彼女は机の前に座っても、落ち着いて本は読めない。

以上、中国語の方向補語である“下”についての先行研究を概観しながら、それぞれの研究についてまとめてみた。先行研究から分かるように、中国語の“下”には多くの意味があり、多くの使い方があり。よって、日本人の中国語学習者にとって、中国語の補語である“下”の学習は極めて難しい。中国語に関する語学研究という視点から見ると、上に紹介した研究のいずれも素晴らしいものである。しかし、このような研究は日本人の中国語の学習にどれだけ役立ったか、もっとはっきりいうと、日本人の中国語の方向補語である“下”の学習にどれだけ寄与したかを考えると、答えかねる部分がある。本研究を日本人の中国語の学習に役立つものにしたいため、語学研究の視点よりも、日本人による中国語の学習という視点から、上記した先行研究に残る問題点を下記のようにまとめてみた。

1.5 先行研究の問題点

方向補語の“下”に関する先行研究には、以下のような問題点があると思われる。

1.5.1 方向補語の“下”の意味分類についての見解が一致していない。

呂は、下の例を挙げて、中国語の方向補語である“下”の分類を試みた。

例：脱下皮鞋，换上拖鞋。(呂叔湘 (1992) P410)

日本語訳：皮靴を脱いで、スリッパに履き替えた。

彼はこの“下”を動作の「完成という意味にプラス離脱の意味」と解釈したが、史は「削除」の意味で、方向補語の“上”の持つ「添加」という意味と対応していると解釈した。一方、杉村はこの“下”は「離脱」という意味を表すものだと主張した。さらに、劉はこの“下”を「物体の一部が物体の全体から離れる、または副次的な部分が主要な部分から離れる」という意味として捉えた。ここから分かるように、中国語の方向補語である“下”に対して、「完成」、「離脱」や「削除」などさまざまな解釈がある。これらの見解の不一致は、中国語の学習者を困惑させてしまうことも考えられる。

1.5.2 学生の中国語学習という視点から“下”の意味、用法について分類していない。

劉 (1998) は、方向補語の分類項目をできるだけ減らすこと、また方向補語の意味を分類するとき、

方向補語の前にある動詞の意味を付け加えないことを主張した。この主張からは、中国語学習の壁をできるだけ低くしようという劉の研究目的が伺える。しかし、彼女（1998）の研究を見れば分かるように、その研究目的は達成されたとは言いがたい。なぜならば、彼女は結果補語を4種類に大きく分類したものの、その内の一つである「結果意味」の中の一つである基本的な意味である「結果意味」だけを取って見ても、さらに7種類の動詞と分けているので、非常に複雑に見えるからである。もちろん、中国語の補語である“下”の意味が多いので、仕方がないかもしれない。しかし、学生にとって理解しやすいように、もっと分かりやすいように工夫すべきだと考えている。

1.5.3 中国語の方向補語である“下”に対応している日本語の表現については触れていない。

成人した学習者は、第2言語を学習するとき、母語から影響を受けていることが多くの先行研究より示唆されている。即ち、母語を勉強の道具として使っているということである。彼らは、母語の知識を利用して、外国語を理解し、記憶しようとする。従って、中国語の補語である“下”と意味的に対応している日本語にはどんな表現があるか、また日本語の意味と対応できないものがあるか否か、あるなら、どんなときに対応できないかなどをはっきりさせることは非常に重要である。しかし、残念ながら、こういう視点から中国語の方向補語である“下”の意味を検討している研究はほとんど見当たらなかった。これも本研究を行う動機の一つだと言える。

そこで、本研究では、日本人の中国語の方向補語である“下”の学習の難度をできるだけ下げようとして、“下”の意味についての新しい分類を試みる。繰り返して述べると、本研究は語学研究という視点よりも、言語学習という視点に立って行われるものである。そのために、まず中国語の方向補語である“下”の意味を“上”と対応しているかどうかという視点から分類し、その後、日本語表現との対応を検討する。

2. 方向補語である“上”と意味的に対応している場合

先行研究について調べた結果、方向補語の“下”と“上”の意味には、対応している部分と対応していない部分があることが分かった。本章では、その対応している部分について検討すると共に、日本語の関連表現と対照しながら日本人の中国語学習者による方向補語の“下”の学習問題点を探ってみる。

2.1 「高い所から低い所へと移動する、または到達する」という意味

方向補語の“下”は基本的に、「高い所から低い所へと移動する、または到達する」という意味を表すものである。この意味の“下”は、「低い所から高い所へと移動する、または到達する」という意味を表す方向補語の“上”と対応している。たとえば、

例：他一不小心滚下了山坡。

日本語訳：彼は誤って、山の斜面をころげ落ちた。

例：他赶忙走下楼，把客人迎进来。

日本語訳：彼は、急いで上から下りて、お客様を迎えた。

例：他一口气爬上了山顶。

日本語訳：かれは、一気に山頂までに登った。

例：他匆忙走上楼，拼命按门铃。

日本語訳：彼は急いで2階に上がって、必死にチャイムを押した。

“滾下山坡”、“走下楼”の中の“下”は“爬上山顶”、“走上楼”の中の“上”と対応している。この“下”と“上”は、正反対の移動の方向を表しているが、「移動によって、目的地（低い所或いは高い所）に到達した」という意味を表しているという共通点を持っている。

中国語の“滚下”と“走下”は、日本語では「転げ落ちる」、「下りる」というように表現する。「転げ落ちる」は「転げる」と「落ちる」という二つの動詞からなる複合動詞である。「転げる」という動詞は、単純に移動を表し、方向性は持たないが、「落ちる」は「高い所から低いところへ」という意味なので、方向性を持っている。一方、日本語の「下りる」は移動を表す上、「高い所から低いところへ」という方向性も持っている。

以上、分かるように「高い所から低い所へと移動すること、または到達すること」という意味に使われている方向補語の“下”は、中国語においても意味的に対応できる“上”はあり、日本語においても意味的に対応できる「高い所から低い所へ」という移動の意味を表す動詞はある。すなわち、日本人の中国語学習者は中国語の方向補語の“下”に対して、日本語の「した」というイメージにプラス「うえ」の意味と対応しているというイメージを持ちやすいのであろう。ゆえに、この場合の“下”は、日本人の学習者にとって、学習が比較的簡単であると推測できる。

2.2 「外すこと、離脱すること」という意味

この場合の方向補語の“下”は「高い所から低い所へ」という意味ではなく、そこからの派生的な意味、即ち「外す、離脱する」という意味に使われる。たとえば、

例：他脱下汗衫，仔细检查伤口。

日本語訳：彼はシャツを脱いで、注意深く傷をチェックした。

例：她从杂志上撕下一页，用来包书。

日本語訳：彼女は雑誌を一枚ちぎって、本のカバーにした。

例：妹妹穿上新衣服，在镜子前左照右照。

日本語訳：妹は新しい服を着て、鏡に映っている自分を左からも右からもチェックした。

例：缝上扣子，你就可以穿这件衣服了。

日本語訳：ボタンをつけたら、この服がすぐ着られる。

上の例から分かるように、中国語の“脱下汗衫”と“撕下一页”の“下”は「外す」という意味や「離脱する」という意味であるのに対し、中国語の“穿上新衣服”と“缝上扣子”の“上”は「くっつく」という意味や「繋げる」という意味である。前者は「くっ付いているものを離脱させる」という意味であるのに対して、後者は「ばらばらの状態にあるものをくっつけて、一つのまとまったものにする」という意味であるので、両者は意味的に正反対である。しかし、どちらも動作を行った結果を表すものであるので、「動作による結果」という意味では、共通性を持っている。

一方、中国語の“脱下汗衫”の日本語は「シャツを脱ぐ」という表現になり、中国語の“撕下一页”の日本語は、「ちぎる」という表現になる。日本語の「脱ぐ」も「ちぎる」も「外す」や「離脱する」という意味をもっているため、中国語のこの場合の“下”と意味的に対応していると言える。しかし、日本語の「下」の意味から離れているので、日本人の中国語学習者にとっては、このときの“下”の学習は2.1の“下”より難しいと予想される。

2.3 「除去すること」という意味

方向補語の“下”の意味は「除去する」という意味も持っている。この場合の“下”は、「添加する」という意味を表す方向補語の“上”と対応している。たとえば、

例：这次以考试不及格的名义刷下了10个人。

日本語訳：今回試験が不合格との名目で10人を落とした。

例：你不能扔下我不管。

日本語訳：私を見捨てるなんてだめだよ。

例：补上10个人，差不多了吧。

日本語訳：10人ぐらい補充したら、大丈夫だろう。

例：出去玩一定要算上我。

日本語訳：遊びに行くなら、ぜひ私も入れてね。

ここの“下”は2.2の「外す、離脱する」の意味から派生したものである。この場合、“下”は「もともとと同じ集団に所属しているが、そこから除去される」という意味を表している。よって、「除去」の結果、「所属集団からの離脱になった」という意味になる。この“下”と対照的に、“补上”と“算上”の“上”は「添加する」という意味を持っており、「もともとばらばらの状態のものが一つのまとまった状態になった」という意味や「別々な存在であったが、同じ集団に所属するようになった」という意味に使われる。よって、ここの方向補語の“下”と“上”は意味的に対応しており、所属関係上の「離合」を表すという点においては、共通性を持っている。

一方、中国語の“刷下”は日本語では「落とす」という表現になり、中国語の“扔下”は日本語では「見捨てる」という表現になる。「落とす」という日本語も「見捨てる」という日本語も「除去する」という意味を持っているが、日本語の「下」の持つ本来の意味から離れてしまう。

以上、分かるように、2.3の“下”は、2.2からの派生的なものである上、日本語の「下」の意味とまったく違っている。よって、日本人の中国語学習者にとっては、この場合の“下”の学習の難易度は、2.2の“下”よりも困難であると予想される。

2.4 「職務や年齢などによる上下関係において上から下へと物事を移動させ、また到達させること」という意味

この方向補語の“下”は「移動と到達」という意味を持ち、通常「身分の高い人から身分の低い人へ、または年上の人から年下の人へ」の方向に使われる。この場合も、方向補語の“上”と対応している。方向補語の“上”は、「上下関係において下から上へ」という意味に使われる。

たとえば、

例：上面传下命令，今天晚上八点前必须完成任务。

日本語訳：上司から今夜八時までに任務を達成するようにとの命令が下りた。

例：老师发下试卷，让我们订正错误。

日本語訳：間違った所を訂正させるために、先生はみんなに回答用紙を返した。

例：送上这份小小的礼物，以表心意。

日本語訳：気持ちを表すために、ちょっとしたプレゼントを差し上げます。

例：每个人都献上一束鲜花。

日本語訳：みんな一束ずつ献花した。

“传下命令”、“发下试卷”の中の“下”は、“送上礼物”、“献上一束鲜花”の中の“上”と対応している。この“下”と“上”は「身分関係の上下」においては正反対の意味を表しているが、物事を移動させ、また「到達」という意味も重ねて持っているという点においては共通している。

中国語の“传下命令”の“传下”に対する日本語は「下りる」という表現になり、中国語の“发下试卷”の“发下”に対する日本語は「返す」という表現になる。日本語の「下りる」は、「身分関係における上から下へ」という意味を持っているが、日本語の「返す」は、「物体を移動させる」という意味を持っているものの、「身分関係における上から下へ」という意味は持っていない。よって、日本人の中国語学習者にとっては、“传下命令”の学習は比較的簡単であるが、“发下试卷”の学習は比較的困難だと考えられる。

2.5 「遠ざかること」という意味

この場合の方向補語の“下”は、「高い所から低い所への移動や到達」という方向を表す意味から派生したものであり、具体的に言う「遠ざかる」という意味に使われる。たとえば、

例：他一句话都没说，就退下了场子。

日本語訳：彼は一言も言わずに、会場から引き上げた。

例：他最后只能败下阵来。

日本語訳：彼は、最後に退場するしかなかった。

例：他一阵儿小跑，很快便追上了那个人。

日本語訳：彼はしばらく走って、すぐにあの人に追いついた。

例：他走上前，深深地鞠了一躬。

日本語訳：彼は前に出て、深深とお辞儀をした。

中国語の“退下场子”と“败下阵”の“下”も、“追上那个人”と“走上前”の“上”も「平面上の移動」という意味である。しかし、この場合の“下”には「遠ざかる」という意味や「遠くなっていく」という方向性があるのに対し、この場合の“上”は「近づく」という意味や「近くなってくる」という方向性がある。この方向性という意味において、“下”と“上”が対応している。

しかし、中国語の“退下场子”の日本語は「会場から引き上げる」という表現になり、中国語の“败下阵”の日本語は退場するという表現になる。「引き上げる」という日本語も「退場する」という日本語も「前から後ろへ」という方向性と連想できても、「上から下へ」という方向性と連想しにくいと考えられる。しかも、中国語では“退下场子”と言って“下”を使うのに対して、日本語では「引き上げる」と言って“上げる”を使うので、中国語と日本語は表現上においても対応していない。したがって、2.5の方向補語の“下”の学習は日本人にとって比較的困難であると予想される。

以上、中国語の方向補語である“下”と“上”が対応している部分について述べてきた。学習の難易度を探るために、基本的な意味、または簡単な意味（日本語と対応している意味）から、派生的な意味、または難しい意味までへと順序を立てて検討してみた。2.1の“下”は基本的な意味に使われている上、日本語の表現と意味的にも対応しているため、日本人の学習者にとって、その学習が比較的簡単であると予測を立てた。2.2の“下”は、派生的な意味を表すものであるが、基本的な意味に近いことから、日本人の学習者にとって、その学習が2.1の“下”より難しいが、2.3

の“下”より簡単であると指摘した。2.3の“下”は、2.2の“下”からの派生的な意味に使われている上、また日本語の「下」の意味と対応していない。よって、2.3の“下”の学習の難易度は2.2の“下”よりも困難であると予想した。2.4の“下”の意味は、高低の方向性という基本的な意味から派生してきたもので、日本語表現の意味と対応している部分と対応していない部分を重ねてもっている。対応している部分の学習は比較的簡単であるが、対応していない部分の学習は比較的困難だと考えている。2.5の“下”は高低の方向性という基本的な意味からの派生的な意味に使われている上、日本語表現の意味とも対応していないため、その学習が日本人にとって困難であると予想をした。

3. 方向補語である“上”と意味的に対応していない場合

本章では、方向補語の“下”と“上”が対応していない部分について検討してみる。同時にこの部分の学習における日本人の中国語学習者の問題点も探ってみる。

3.1 「動態から静態に入る」という意味

「動態から静態に入る」という意味を表す場合の方向補語の“下”は同じ方向補語の“上”と対応していない。たとえば、

例：看到市长来了，她赶忙停下手中的针线活儿，迎了上去。

日本語訳：市長が来たのを見て、彼女はすぐ縫い物を止めて、対応した。

例：你就定下心好好学习吧。

日本語訳：安心してよく勉強してください。

杉村(1993)によると、この場合の“下”は「停止」という意味を表すもので、方向補語の“起”や“起来”と対応しているという。一方、劉(1998)は、この“下”は「停止」の意味を表すものではなく、「動態から静態に入る」ものだと解釈している。著者は劉の見解を支持しているので、本研究ではこの“下”を「動態から静態に入る」という意味を取ることにした。

ところで、この場合の“下”と対応している日本語はどんな表現になるのだろうか。中国語の“停下”と対応している日本語は「止める」という表現になり、「定下(心)」と対応している日本語は「安心する」という表現になる。日本語の「止める」にも「安心する」にも「動態から静態に入る」という意味が含まれている。しかし“下”と“上”が対応しているという先入観でこの方向補語の“下”を学習するとき、きっと「動態から静態に入る」という意味に結びつかない可能性から、この“下”の学習は比較的困難であると予想できる。

3.2 「残る、残す、動作による結果」という意味

方向補語である“下”は、「残る、残す」という意味や「動作による結果」という意味を表すこともできる。この意味の“下”も同じ方向補語の“上”と対応していない。たとえば、

例：剩下二十来块，也不能干什么。

日本語：二十元ぐらいは残ったとしても、何もできない。

例：他们俩省吃俭用攒下一笔钱，准备供儿子上大学。

日本語：彼ら二人は節約して、息子の大学に行くための資金を貯めた。

例：他写下了很多光辉的诗篇

日本語訳：彼は立派な詩を多く書き残した。

上の例文から分かるように、この場合の方向補語の“下”は同じ方向補語の“上”と意味的に対応できない。日本語の訳文を見ると、中国語の“剩下”の日本語は「残る」という意味で、“攢下”の日本語は「貯める」という意味、また“写下”の日本語は「書き残す」という意味である。どの日本語も「残る」という意味を表すものである。次に、表現の重点を結果の意味に置く例文を見てみよう。たとえば、

例：他犯下这么多罪行，真是不可饶恕。

日本語：彼はこれほど数多くの罪を犯したのだから、本当に許せない。

例：这是一点小意思，请您收下吧。

日本語：ほんの志ですが、どうぞお受け取りください。

例：既然许下了诺言，就必须兑现。

日本語：約束した以上は、実行しなければならない。

中国語の“犯下”の日本語は「犯す」という意味で、“收下”の日本語は「受け取る」という意味、また“许下”の日本語は「約束する」という意味である。いずれも、「動作による結果」を表すものであるが、相互の関連性が低い。よって「残る」や「残す」という意味に表現の重点が置かれている“下”の学習と比べ、「動作による結果」という意味に表現の重点が置かれている“下”の学習は、日本人の中国語学習者にとってより困難であると予想される。なぜならば、この場合に使える動詞は雑多で、つかみにくいからである。

いずれにしても、上の例文から分かるように、3.2の“下”と一緒に使える動詞には共通性が見られないだけでなく、どういった関係の動詞がこの場合の“下”と一緒に使えるかも分かりにくい。しかし、成人した人が外国語を学習するとき、まず利用したがる道具は母語に関する知識であろう。つまり彼らは外国語のある現象を学習するとき、まずそれと対応する母語の知識を探そうとする。それが見つかったら、すぐそれを使って解釈してしまうと考えられる。それで解釈できない場合、今度なんらかの法則性を見出そうとするのであろう。もし、法則性も見出せないならば、彼らはきっと学習の手がかりを失ってしまって、困惑してしまう。それが原因で、中国人の日本語学習者にとって日本語の「が」と「は」の学習は極めて困難であると言われている。それは、中国語には「が」と「は」に対応できるものはないだけでなく、「が」と「は」を使い分けるルールも明瞭ではないからである。このことと同じように、この場合の“下”は日本語と対応していない部分もあり、使える動詞に関する法則性もはっきりしていない。その上同じ中国語の方向補語の“上”とも対応していないので、この場合の方向補語の“下”の学習は日本人にとってきわめて難しいと予想される。

4. まとめ

本研究では、日本人の中国語学習者による学習の難易度という視点から、簡単な意味から難しい意味へと順序を立てながら方向補語の“下”の意味について検討し、分類してみた。第2章と第3章の検討を通じて、日本人の中国語学習者による方向補語の“下”の学習の難易度の順序について予測を立てた。それをまとめると、日本人による中国語の補語である“下”の学習に関しては以下の仮説を立てることができる。

仮説1：派生的な意味の学習は、基本的な意味の学習より難しい。

仮説2：方向補語の“上”と対応していない意味の学習は対応している意味の学習より難しい。

仮説3：日本語の「下」と対応していない意味の学習は対応している意味の学習より難しい。

上記の仮説を検討することを今後の研究課題とする。

引用・参考文献

- 冯 志纯 2002 现代汉语 西南师范大学出版社 152
- 呂 叔湘（主編） 牛島徳次・菱沼 透（監訳） 1992 中国語文法用例辞典（現代漢語八百詞 増訂本）東方書店 410-411.
- 刘 月华 1998 趋向补语通释 北京语言文化大学出版社 137-159.
- 杉村博文 1983 试论趋向补语“下”・“下来”・“下去”的引申用法 语言教学与研究 4, 451-465.
- 史 锡尧 1993 动词后“上”、“下”的语义和语用 汉语学习 4,5-8.